

# Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名: 主要経済指標予定 (2010年2月8日~2月12日)

発表日: 2010年2月5日 (金)

第一生命経済研究所 経済調査部  
担当 日本経済短期チーム  
TEL: 03-5221-4528

## (2月8日~2月12日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
2月8日 (月)	8:50 12月国際収支 経常黒字(前年比) (原数値)	+531.1% 10,280 億円	— 10,117 億円	— 3,707 億円~10,700 億円	+76.9% 11,030 億円
	8:50 1月マネーストック M2(前年比)	+3.0%	+3.0%	+2.8%~+3.3%	+3.1%
	M3(前年比)	+2.2%	+2.2%	+2.0%~+2.4%	+2.2%
	広義流動性(前年比)	+1.2%	+1.1%	+1.0%~+1.5%	+1.1%
	8:50 1月貸出・資金吸収動向 国内銀行貸出残高(調整後前年比)	—	—	—	▲0.9%
14:00	1月景気ウォッチャー調査 現状判断 DI	—	—	—	35.4
	先行き判断 DI	—	—	—	36.3
2月9日 (火)	13:30 12月特定サービス産業動態統計				
2月10日 (水)	8:50 12月機械受注 船舶除く民需 (前月比)	+9.0%	+8.0%	+4.0%~+13.8%	▲11.3%
	(前年比)	▲10.6%	▲10.8%	▲15.5%~▲6.8%	▲20.5%
	8:50 1月企業物価指数 (前月比)	+0.1%	+0.1%	▲0.3%~+0.4%	+0.1%
(前年比)	▲2.3%	▲2.3%	▲3.3%~▲1.7%	▲3.9%	
2月11日 (木)	建国記念の日				
2月12日 (金)	14:00 1月消費動向調査 消費者態度指数(一般世帯)	—	—	—	37.6

(注) 市場予測は Bloomberg、日経 quick 調査をベースに作成

### 【重要指標の当社予測とコメント】

#### **12月国際収支・経常収支(原数値) 当社予想: 1兆280億円 中央値: 1兆117億円**

12月の経常黒字額は10,280億円(前年比+531.1%)を予想する。既に発表された貿易統計では、輸出はアジア向けを中心に堅調な推移が続いたが、国内生産活動の活発化などに伴い輸入も増加しており、貿易収支の改善は小幅に止まった。また、経常黒字の大部分を占める所得収支についても、為替が引き続き円高水準で推移したことなどから、低調な推移が予想される。経常黒字は、足踏み状態が続くようだ。

なお、税制改正により、企業の海外子会社が収益や配当金を日本の親会社に送金する際の課税が、09年4月以降免除されている。この送金は四半期末に増加する傾向があるため、12月分の所得収支黒字が上振れる可能性があることに注意が必要である。(エコノミスト: 岩田 陽之助)

#### **12月機械受注・船舶電力除く民需(前月比) 当社予想: 前月比 +9.0% 中央値: 同 +8.0%**

12月の機械受注(船舶・電力除く民需)は、前月比+9.0%と3ヵ月ぶりの増加を予想する。関連統計となる12月工作機械受注(内需)をみると、持ち直しが続いていることなどから、機械受注も増加が予想される。ただ、10-12月期でみれば、内閣府見通し(前期比+1.0%)を下振れて、7四半期連続の減少となる公算が大きい。(副主任エコノミスト: 齋藤 俊輔)

#### **1月企業物価指数・国内企業物価(前年比) 当社予想: 前年比 ▲2.3% 中央値: 同 ▲2.3%**

1月の国内企業物価は前月比+0.1%、前年比▲2.3%を予想する。前年の原油価格急落の裏が出ることや

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

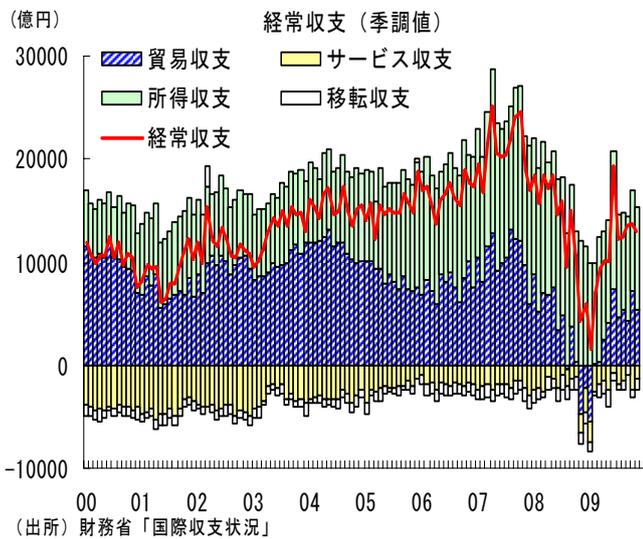
世界経済の持ち直しに伴う国際商品市況の強含みを背景に、前年比マイナス幅は縮小しよう。原油を中心とした国際価格の上昇によって引き続き石油・石炭製品や非鉄金属、化学製品のプラス寄与が予想される。また、中国を中心としたアジア向け輸出が堅調なことから、金属製品も前月比プラスが見込まれよう。一方、建設需要の不振による建設用鋼材価格の下落や内需低迷の影響などを受けて、鉄鋼、繊維製品、パルプ・紙・同製品などのマイナス寄与は継続しよう。

先行きについては、急速な円高の一服や輸出の回復、国際商品市況の上昇基調の持続などが押し上げに寄与する一方、前年の原油価格急落の裏の影響が徐々に弱まっていくことや製品需給緩和の影響が続くことが押し下げ要因となる。国内企業物価がプラス転化に至るには当面、時間がかかるだろう。

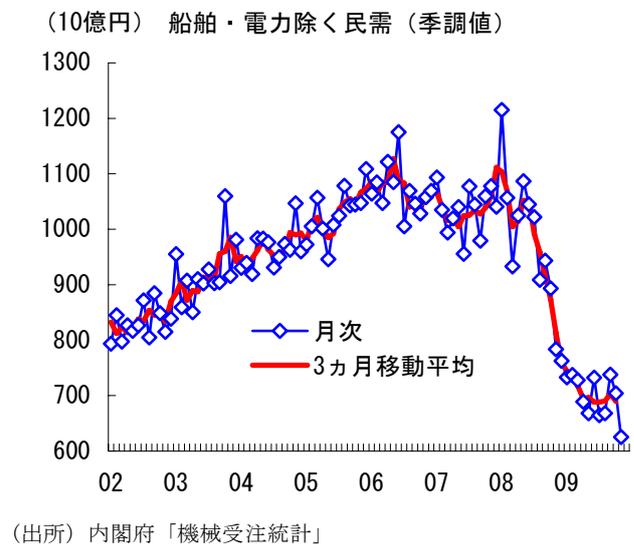
(エコノミスト：小杉 晃子)

以上

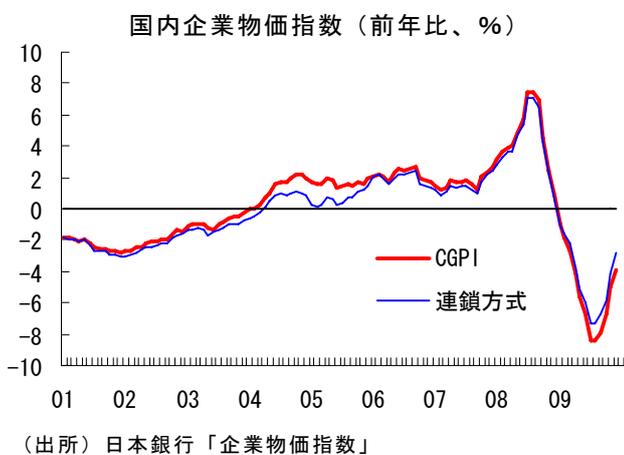
図表 1



図表 2



図表 3



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



### 3月の経済指標公表スケジュール

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
3/1 2月軽自動車販売(14:00) 2月自動車販売(14:15)  (米)1月個人所得・消費 (米)2月ISM製造業景気指数 (米)1月建設支出 (欧)2月製造業PMI(確)	2 1月労働力調査(8:30) 1月一般職業紹介状況(8:30) 1月家計調査(8:30) 2月マネタリーベース(8:50) 10年利付国債  (米)ページブック (米)2月自動車販売台数 (欧)1月生産者物価 (豪州)金融政策委員会	3 1月毎月勤労統計(10:30)  (欧)1月小売売上高 (豪州)10-12月期GDP	4 10-12月期法人企業統計(8:50)  (米)2月ISM非製造業指数 (米)1月製造業受注 (米)1月中古住宅販売保留 (欧)10-12月期GDP(改) (欧)ECB理事会 (英)BOE金融政策決定会合 (インドネシア)金融政策委員会 (マレーシア)金融政策委員会	5 1月家計消費状況調査(14:00)  (米)2月雇用統計 (米)1月消費者信用残高
8 1月国際収支(8:50) 2月マネーストック(8:50) 2月貸出・資金吸収(8:50) 2月景気ウォッチャー調査  (独)1月鉱工業生産	9 1月景気動向指数(14:00) 30年利付国債	10 1月機械受注統計(8:50) 2月企業物価(8:50) 1月特定サービス産業動態統計調査(13:30)  (米)1月卸売在庫 (米)2月財政収支 (仏)1月鉱工業生産 (タイ)金融政策委員会	11 10-12月期GDP2次速報(8:50) 5年利付国債  (米)1月貿易収支 (ニュージーランド)金融政策委員会 (韓国)金融政策委員会 (ブラジル)10-12月期GDP	12 2月投入・産出物価指数(8:50) 1月鉱工業指数・確(13:30)  (米)2月小売売上高 (米)3月ミシガン大消費者センチメント (米)1月企業在庫 (欧)1月鉱工業生産
15 1月商業販売統計・確(13:30) 2月消費動向調査(14:00)  (米)3月NY連銀指数 (米)1月対米証券投資 (米)2月鉱工業生産 (米)2月NAHB住宅市場指数	16 金融政策決定会合(~17日) 20年利付国債  (米)2月輸入物価 (米)2月住宅着工件数 (米)2月建設許可件数 (米)FOMC (欧)2月消費者物価 (仏)2月消費者物価	17 1月第3次産業活動指数(8:50) 1月毎月勤労統計・確(10:30) 1月建設総合統計(14:00) 日銀総裁定例記者会見(15:30) ※3月月例経済報告  (米)2月生産者物価	18 3月ロイター短観(8:30) 1-3月期法人企業景気予測調査(8:50) 1月景気動向指数改訂(14:00) 3月金融経済月報(14:00)  (米)2月消費者物価 (米)3月フィア連銀指数 (米)2月景気先行指数 (欧)1月貿易収支 (ブラジル)金融政策委員会	19 1月全産業活動指数(13:30)  (トルコ)金融政策委員会 (メキシコ)金融政策委員会
22 ※(欧)2月製造業PMI(速)	23 10-12月期資金循環(8:50) 金融政策決定会合議事要旨(2月17,18日分)(8:50) ※2月チェーンストア販売統計(14:00) ※2月全国百貨店売上高(14:30) 2月コンビニエンスストア統計(16:00)  (米)2月中古住宅販売件数 (米)1月FHFA住宅価格指数	24 ※2月貿易統計(8:50) ※平成22年地価公示(16:50)  (米)2月耐久財受注 (米)2月新築住宅販売件数 (独)3月Ifo景況感指数	25 2月企業向けサービス価格指数(8:50) 2年利付国債  (ニュージーランド)10-12月期GDP ※(台湾)金融政策委員会 (南アフリカ)金融政策委員会	26 2月消費者物価・全(8:30) 3月消費者物価・都(8:30)  (米)10-12月期GDP(確) (米)3月ミシガン大消費者センチメント(確) (韓国)10-12月期GDP(確)
29 2月商業販売統計(8:50)  (米)2月個人所得・消費 (独)3月消費者物価(速)	30 2月労働力調査(8:30) 2月一般職業紹介状況(8:30) 2月家計調査(8:30) 2月鉱工業指数(8:50)  (米)3月CB消費者信頼感指数 (仏)10-12月期GDP(確) (英)10-12月期GDP(確)	31 2月毎月勤労統計(10:30) 2月住宅着工統計(14:00)  (米)3月シカゴPMI (米)2月製造業受注 (欧)3月消費者物価(速) (トルコ)10-12月期GDP	4/1 3月日銀短観(8:50) 3月軽自動車販売(14:00) 3月自動車販売(14:15)  (米)3月ISM製造業景気指数 (米)2月建設支出 (米)3月自動車販売台数 (欧)3月製造業PMI(確)	2 3月短観業種別計数及び調査全容(8:50) 3月マネタリーベース(8:50)  (米)3月雇用統計

(※)印は期日が未定のもの

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。